



**MARKING NOTES
REMARQUES POUR LA NOTATION
NOTAS PARA LA CORRECCIÓN**

May / mai / mayo 2012

JAPANESE / JAPONAIS / JAPONÉS A2

**Standard Level
Niveau Moyen
Nivel Medio**

Paper / Épreuve / Prueba 1

*These marking notes are **confidential** and for the exclusive use of examiners in this examination session.*

*They are the property of the International Baccalaureate and must **not** be reproduced or distributed to any other person without the authorization of IB Cardiff.*

*Ces remarques pour la notation sont **confidentielles**. Leur usage est réservé exclusivement aux examinateurs participant à cette session.*

*Ces remarques sont la propriété de l'Organisation du Baccalauréat International. Toute reproduction ou distribution à de tierces personnes sans l'autorisation préalable d'IB Cardiff est **interdite**.*

*Estas notas para la corrección son **confidenciales** y para el uso exclusivo de los examinadores en esta convocatoria de exámenes.*

*Son propiedad del Bachillerato Internacional y **no** se pueden reproducir ni distribuir a ninguna otra persona sin la autorización previa de IB Cardiff.*

この「マーキングノート」は、問題のねらいと答案の出来のたまかな目安を示したもので、採点上の一応の参考にすぎません。採点時の一つのガイドラインではありますが、すべての答案の採点基準として厳守されるというものではありません。採点にあつたては、「ランゲージA2ガイド」の評価表が、評価の際の第一の基準であることに留意願います。ご自身が持つおおよその基準となじまないところがあつても、気になさらず、良い答案はここに書かれていないものでも高く評価し、レベルの低い答案はそれなりの評価をなさってください。

問題A

ねらい

受験生は、月刊誌に掲載されたエコノミストのオピニオンコラムとアニメ映画プロデューサーが同僚の監督について語ったエッセイの比較対照を求められている。二つのテキストに共通するテーマは今と昔、そして頂点に立ち続けることについてである。

標準以下の比較コメントリー

- 二つに共通するテーマは今と昔についてであると述べている。
- ジャンルの違いについて書いてある。
- それぞれのテキストの表現の特徴について多少述べている。例えば、テキスト1では同じ表現が繰り返し使われ、テキスト2は話し言葉である。

標準より良い比較コメントリー

- 共通テーマについての扱い方の相違をもっと具体的に書いている。例えば、テキスト1は日本の現状について残念に思い、立ち直るように強いメッセージを送っているが、テキスト2はアニメ監督の宮崎駿が常に新しいことに挑戦することについて述べている。
- テキストの目的について述べている。例えば、テキスト1は読者に警告を与え、日本を立ち直らせるように働きかけることを目的で書かれた文章だが、テキスト2は読者に宮崎について知らせることを目的としている。
- ジャンルの異なる二つの文章の構成について述べている。
- 語調などの表現技法の工夫やその効果についてさらに詳細に論じている。

最も良い比較コメントリー

- 二つのテキストにおけるテーマとメッセージについて詳細に書いている。共通するテーマは成功した後にも頂点に立ち続けることだが、例えば、テキスト1は国家レベルでと論じていて、テキスト2は個人的なレベルで感じることを書いている。
- 構成の工夫とその効果を的確に比較対照している。例えば、テキスト1は冒頭で質問を投げかけ、それに答えた後日本の現状を描いている。そして、最後に現状を至急打開する策をとるように呼びかけている。このようなテキスト1の構成のあり方がジャンルの異なるテキスト2とどのように異なるのか適切に分析し比較している。
- 表現技法とその効果について適切かつ詳細に分析し比較している。例えば、テキスト1における非常に強い表現の仕方や繰り返しと短文の多用など、テキスト2の話し言葉で書かれた文章や括弧の多用などについて述べている。

問題B

ねらい

受験生は、男性小説家によるマラソンレポートと、マラソンを走る別の男性小説家によるエッセイの抜粋の比較対照を求められている。二つのテキストに共通するテーマはマラソンレースである。

標準以下の比較コメントリー

- 二つのテキストがマラソンレースであることが書いてある。
- 二つのテキストが共に小説家によって書かれていることを記している。
- ジャンルの違いを述べている。テキスト3はマラソンレポートからの抜粋で、テキスト4はエッセイである。
- テキスト3はレポートで、テキスト4はマラソン走者による第一人称で書かれていると述べている。

標準より良い比較コメントリー

- それぞれのテキストの詳細について適切に理解している。テキスト3の筆者はマラソンレースをレポーターであると同時に観察者として見ていて、走者を動物のように扱っている。一方、テキスト4は走者としての心情や体調や風景について詳細に描いている。
- 構成について比較対照している。テキスト3はレースを段階的に追っていき、走者と観客や周りの者についても交互に描いている。テキスト4もレースの最終部分を3段階で書いているが、走者としての視点からのみである。
- テキスト3はマラソンをレポートすることが目的であるが、テキスト4はマラソン走者がレース中に身体がどうなっているのか、またどんなことを思っているのかを知らせるために書かれた文章である。

最も良い比較コメントリー

- 二つのテキストのテーマの展開について詳細に分析し比べている。
- ジャンルの異なる二つのテキストの構成について適切に比較している。
- 表現の特徴とそれがどのような効果をもたらしているのか適切かつ詳細に述べている。例えば、以下の点についてである。
 - 二つのテキストは共に現在形で書かれていて、ほとんどの文が短い。特にテキスト3の文は短く、後半部では体言止めも多い。また、テキストは両方とも描写が写実的で情景が目につく。
 - テキスト3では走者を実名で呼ばず、イニシャルのUやHや一括りに彼ら、また一匹オオカミと呼んだり、後半部では放し飼いのライオンや犬に例えたりしている。しかしテキスト4は第一人称である。
 - 二つのテキストは共に激しい表現をよく使っている。テキスト3では、走者の野生のままの肉体を描写しているが、テキスト4は、肉体の限界に挑戦する走者を「～ない」という多くの否定形を使って書いている。
- 語調の違いについて適切に述べて、また読者の受ける印象についても的確に比べている。例えば、テキスト3は格闘を見ているようで興奮が伝わってくるが、テキスト4の語り手は悲観的で自分の無力さを嘆き、語りが暗い。この語調の違いは読者にどのように影響するのか、それぞれのテキストを分析し比べている。